



小中学校統廃合今後の進め方は

鷺野 聡明 議員

地域住民への説明会、アンケートを考える。

教育部長



▲統廃合が検討されている八開中学校

八開全域の小中学生は、公費によるバス送迎は可能なのか。
教育部長 通学方法等検討作業部会を立ち上げ、検証・検討を進めている。スクールバスの利用料金は、公費負担ができるよう行政部局と協議を重ねていく予定。

統廃合には地区住民アンケートを検討しては。
教育部長 地域住民への説明会、アンケートを行うことも考えている。いつごろまでに検証・検討を終了する計画か。また住民説明会はいづごろの計画で予定しているのか。

教育部長 夏ごろまでには各作業部会での検討作業を完了させ、住民説明会が実施できるように進めていきたい。

子育て支援センターの見直し案はあるのか。

健康福祉部長 重要な役割を果たす施設であり、現在、通学方法等検討作業部会で、スクールバスの児童館及び子育て支援センターとの連携について検討をしている。

空き家・空き地バンクの計画は

空き家等実態調査の結果は。

市民協働部長 空き家の可能性のある物件は約700棟。統計調査の住宅数から見ると約3%だ。

空き家・空き地バンクに対する当市の推進スケジュールは。

市民協働部長 空き家の所有者から空き家バンクへの加入の意向を整理し、関係機関と連携をし、推進を進めたい。まずは計画を策定し、平成30年に空き家の所有者に対してアンケートを行い、意向調査をしたい。

空き家状況	件数	
A. 空き家である	547件	620件
B. 空き家である可能性大	73件	
C. 空き家でない可能性大	23件	
D. 空き家でない	71件	
		714件

▲平成30年3月末の空き家実態調査集計結果